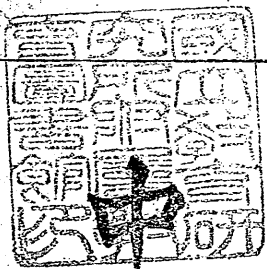




K220.72

71

2



學
習
字
帖
二

夫子之道忠恕而已
夫子之道忠恕而已

己所不欲勿施於人
己所不欲勿施於人

人無遠慮必有近憂
人無遠慮必有近憂

謹身節用以養父母
謹身節用以養父母

衆芳搖落獨暄妍
占盡風象芳搖落
獨暄妍占盡風
情向小園疎影橫
斜水清

情向小園疎影橫
斜水清淺暗香浮
動月黃昏霜禽
沙暗香浮動月黃
昏霜禽

欲下先偷眼粉蝶如知合
欲中先倚眼粉蝶如知合
斷魂幸有微吟可相狎不

斷魂幸有微吟可相狎不
須檀板共金尊
須檀板共金尊
須檀板共金尊

鎮守氏神祖寬祭典寶物好貌
招待答應晚餐親戚團聚愉快
談話喜樂演奏報知案內萬障

踪合出席勸誘同伴委細承知
振立曠乞餉分荷物取錄還留
滯在名不虛流遊覽風景絕佳

謹啓時下抄暑為凄き程く直中の変
先望とは何の由障りもいとせられず是如
由句ハト上の次小私義無事消光云

真と管他事ながら由故通中され候は
傍先月歸館の後友人あり三名と相謀り
近縣徒歩極りを試み山河を跋渉して

旬日を費し別冊の如き紀行を得中の
に新書浄書の上一部を目にかけ
直笑喚下され度美し直批正を裁く

ことを得ば此上もなき仕合せと存じ
幸りの委細は来月持参の節直話し
申上度樂しみよ致し居りの御具

衛生滋養豫防清潔塵埃掃除
滋養病毒風邪怪氣負傷扑撲
醫師診察治療服藥容許發熱

衰弱疲勞看護介抱危苦死亡
然傷痛眩暈愕眙念悔狀吊詞
象惓懷慮忌阻追善記念掃邪

持啓私義入院中は毎々由見
舞よ形りありがたく由禮由上は
由蔭にあり経過より〜昨日

漸く退院の運びよお成共ども
程暫の百海岸へ轉地療養
とたす方より〜かえ〜の注

素もこねありのひらつ本明日より
二週冒匠子へ糸をこしらへて致し
右一寸由知らせ申上置ひ為候

宝次第糸上候より厚襦袢申上
づくは皆々様にもよりく出風
聲の程直軽ひ申上は致具

人ヲ相手ニセズ天ヲ相手ニセヨ天ヲ相手
ニシテ己ヲ盡シ人ヲ咎メズ我が誠ノ足ラ
ザルヲ尋ヌベシ己ヲ愛スルハ善カラスコ

トノ第一ナリ修業ノ出来ヌモ事ノ成ラヌ
モ過ヲ改ムルコトノ出来ヌモ功ニ伐リテ
驕慢ノ生ズルモ皆自ラ愛スルガタメナレ

バ決シテ己ヲ愛スマジキモノナリ過ヲ改
ムルニ自ラ過テリト思ヒツカバソレニテヨ
シソノ事ヲバ棄テ、顧ミズ直ニ一歩踏ミ

ダスベシ過ヲケヤシク思ヒ取繕ハントテ
心配スルハ茶碗ヲ割リシ時ソノ缺ヲ集メ
テ合セ見ルト同ジコトニテ詮ナキコトナリ

是日也天朗氣清惠風和暢仰觀宇
是日也玄朗章清惠風和暢仰觀宇
宙之大俯察品類之盛所以遊目騁

音之大俯察品類之盛所以遊目騁
懷足以極視聽之娛信可樂也
懷足以極視聽之娛信可樂也

先生德下薰陶深粹與問文字
濡劑怨考懇勤面倒手數解極
骨折盡力丁寧及度配直惡念
迷惑邪廢苦勞依彩快讓流石
立派厚情感激報謝為儀執上
紹介桂君職勤勉獎勵名譽

持居某先生に於て此度意由遅延
由歸國あらせらるべき趣誠に
由名跡惜しき次第よ由中自體てを

先生の由薫陶を更けたるもの
一回應分の豫金を亦何か記念
品を贈呈しては如何との話も

出でしどもを私よりは各自書画
文章及び詩歌等の申付たりとも
お認め可纏めて由贈り申さざる方

一 層由満足の事と存じ右極右法
一 決致し以に付由同意に由産はは
美濃紙へ任意由認めの上来る何日

まづに幹事某君の変まづ由差
出—下され度此處より送—奉りの
實は一—由右漢の上取極め致す

べき署の変取急ぎの場合も付幹事
の習子於てお様中合せ由賛同を
仰ぎの次第由宥悉中され度の事

家門和順雖饗殮不繼亦有餘歡國
家一和忙時養給不繼亦有餘歡國
課早完即囊橐無餘自得至樂讀書
課早完已囊橐無餘自得至樂讀書

志在聖賢為官心存君國守分安命
志在聖賢為官心存君國守分安命
順時聽天為人若此庶乎近焉
順時聽天為人若此庶乎近焉
唯時聽天為人若此庶乎近焉

左に掲げりしは疑字及び類字の對
照にて拙著草海の中より取り出だ
たるものには産の番一事は草海を

由曉中されはばおれなり中すべし鬼
角草書は冒遠いやすきものに昔
師注嘉肝要と存一

惟性源深出書父又天與去知
惟性源源出出又又玄玄玄玄
私和在左來成兩卒志者陳陣
私和在左來成兩卒志者陳陣
牛步列別千手羊承毛垂各谷
牛步列別千手羊承毛垂各谷
而馬高亭校榘和制近遠氣菊
而馬高亭校榘和制近遠氣菊
而馬高亭校榘和制近遠氣菊

戊申詔書

朕惟フニ方今人文日ニ就リ月ニ將ニ
東西相倚リ彼此相濟シ以テ其ノ福利
ヲ共ニス朕ハ爰ニ益國交ヲ修メ友義
ヲ悖シ列國ト與ニ永ク其ノ慶ニ賴ラ
ムコトヲ期ス顧ミルニ日進ノ大勢ニ
伴ヒ文明ノ惠澤ヲ共ニセムトスル固
ヨリ内國運ノ發展ニ須ツ戰後日尚淺

ク庶政益更張ヲ要ス宜ク上下心ヲ一
ニシ忠實業ニ服シ勤儉産ヲ治メ惟レ
信惟レ義醇厚俗ヲ成シ華ヲ去リ實ニ
就キ荒怠相誠メ自彊息マサルヘシ

抑我カ神聖ナル祖宗ノ遺訓ト我カ光
輝アル國史ノ成跡トハ炳トシテ日星
ノ如シ寔ニ克ク恪守シ淬礪ノ誠ヲ輸
サハ國運發展ノ本近ク斯ニ在リ朕ハ

方今ノ世局ニ處シ我カ忠良ナル臣民
ノ協翼ニ倚藉シテ維新ノ皇猷ヲ恢弘
シ祖宗ノ威徳ヲ對揚セムコトヲ庶幾
フ爾臣民其レ克ク朕カ旨ヲ體セヨ

御名 御璽

明治四十一年十月十三日

大正六年九月 岡田起作書

大正六年十月二十九日 印刷
 大正六年十一月一日 發行

中學習字帖
 著作權所有

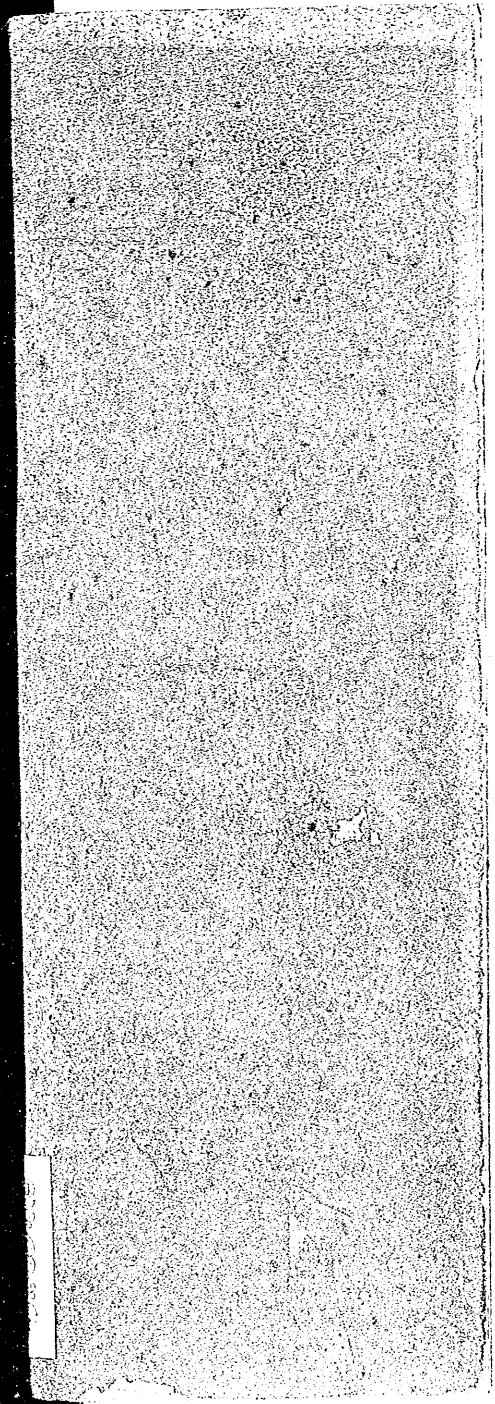
定價金廿三錢

編輯者 兼
 發行者 者
 印刷所 者

東京市麴町區下六番町四番地 岡田起作
 東京市神田區小川町一番地 立田義元
 東京市牛込區榎町七番地 渡邊八太郎
 東京市牛込區榎町七番地 日清印刷株式會社

發行所
 東京市神田區小川町一番地
 文會堂書店

電話本局一四二一番
 東京東區番三五一



11
12
13
14
15
16
17
18
19
20